

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名	岡山県	市町村名	津山市	区域名	津山市歴史的風致維持向上地区
区域現況	区域の概要	<p>当該地区は、城下町として綿密に計画された街なみを有しており、津山城の周辺には武家地が置かれ、町の中心部を出雲街道が東西に貫き、道路沿いに商人町、横町や裏には職人町、それらを取り囲むように神社仏閣が配置されている。</p> <p>今日に至るまで戦災を始めとする大きな火災に遭わなかったことから、現在も城下町の都市構造や歴史遺産が数多く残り、人々の暮らしの中に津山まつりなど伝統的な営みや活動が受け継がれ、歴史的風致が形成されている。</p> <p>一方で、江戸期の町割りや町家を中心とする生活環境が現在の生活様式に合わず、空き家の増加や高齢化等が進み、地域コミュニティの形骸化や伝統文化の後継者不足などにより、歴史的風致の維持が困難になってきている。武家地についても継続的な保存整備が進まず、貴重な武家屋敷の損傷や減少に歯止めがかからない状況である。</p> <p>本市では、「市民が愛着と誇りを感じ、住み続けたいと思えるまち」を目指し、津山らしい景観の創出に取り組んでおり、当該地区は津山城址を筆頭に文化財が集積する市の歴史・文化・観光の中心であり、「住み続けたいまち」への核となる区域のため、歴史的な町並み保全と住・生活環境の向上に積極的に取り組み、「美しい景観」と「暮らしやすさ」の調和を目指す。</p>			
	道路の状況	<p>城下町特有の狭隘で屈曲した道路が多く、利便性に課題がある。特に旧出雲街道沿いは江戸時代初期から中期にかけて形成されたままの状況で、町家や住宅が連坦していることから、一部で道路の美装化や無電柱化を実施しているものの、その他の整備はほとんど行われていない。道路の美装化や側溝の改修による修景など、生活と良好な景観が調和した景観整備に取り組む必要がある。</p>			
	公園等の現況	<p>歴史公園の津山城址や総合公園の衆楽園が整備されており、多くの市民や観光客に鑑賞や散策の場として利用されている。しかし、砂利道や段差が多いため、車椅子やベビーカー利用者、高齢者が安全に散策できるよう散歩道や園路、ベンチなどの整備が求められている。</p> <p>また、小規模な街区公園は2箇所のみのため、子育て支援や地域防災の観点から住民の利用に供する身近な公園等の整備が望まれている。</p>			
	地区住民のまちづくり活動の概要	<p>地元町内会や「城東まちづくり協議会」、「城西まちづくり協議会」などの住民組織が地区の歴史や文化に関連したイベントなどを実施し、地域の活性化や町並みの保存と住・生活環境の改善に取り組んでいる。</p>			
区域の整備に関する基本計画	整備の目標	<p>地区内の歴史的建造物や伝統的な町並みなどの歴史資産を生かした津山らしい景観形成と暮らしやすさを実現するため、歴史的建造物の整備と道路の美装化や側溝の改修など生活に密着した周辺環境の整備を行い、歴史的風致の維持向上と住・生活環境の改善を図る。これにより、地域の魅力を向上させ、人を呼び込み、地域コミュニティと地域経済の活性化を実現させる。</p>			
	整備の時期	令和3年度から令和7年度（5年間）			
	地区施設等の整備に関する基本事項	通路等	<p>重伝建地区を中心に、出雲街道の道路美装化や無電柱化、側溝改修等に取り組む、景観及び生活空間の改善と歩行者の安全確保を図る。</p>		
		小公園等	<p>住民の憩いやゆりの場として、歴史や文化を感じられる空間を設け、良好な景観形成を推進するとともにバリアフリー化を促進し、利用者の利便性を向上させる。</p>		
その他	<p>歴史的建造物と住民の安全対策のため防火対策を充実する。</p> <p>また、案内標識の統一化と多言語化及びICT化により、外国人を含めた幅広い利用者にわかりやすい表記と利便性の高い案内ツールを景観に配慮</p>				

		<p>しながら整備する。</p> <p>歴史的風致形成建造物の整備を進め、歴史資産の活用を図る。</p>
住宅等の整備に関する基本事項	住宅	<p>歴史的風致形成建造物や伝統的建造物の保存修理、良好な景観の阻害要因の解消を図り、武家屋敷の修理修景を促進することで、歴史的景観に配慮しながら、住民にとって住みやすいまちづくりを推進する。</p>
	敷地	<p>良好な景観の阻害要因となっている空地や駐車場等について、塀などを修景し景観を改善する。また、地区内の武家地の景観保全に努める。</p>
その他の事項		